

アグリネット アドバンス サービス仕様書

1. 本サービスの種類および内容

本サービスの種類および内容は以下のとおりとします。ただし、アグリネット アドバンス申込書の料金表に記載のある場合のみ有効となります。

(1) 警報・モニタリング

- ・圃場に設置した温室用温風暖房機および環境センサーなどの情報をクラウドで収集
- ・クラウド上にデータを集約することにより、遠隔からのハウス内の状態の確認が可能
- ・高温や低温などの温度異常や、停電、機器の異常などを、警報の形でリアルタイムにメールで配信し、農作業の管理リスクを減らし、安定生産をサポート

※警報・モニタリング用機器 詳細

- ・ハウスカオンキ：通信対応のハウスカオンキを接続した場合、ハウスカオンキの定期的な運転情報（室温、設定温度、燃焼時間（累積）、燃焼回数（累積）、燃焼時間、燃焼回数）の提供及び、ハウスカオンキの警報発生時にメールで通報。ハウスカオンキの温度警報設定をした場合、設定温度から外れた場合にメールで通報。
- ・モニタリングセンサー：モニタリングセンサー（温度、湿度、照度、CO₂ センサーなど）で定期的に測定した温度、湿度、照度、積算日射量、CO₂ 濃度などの環境情報を数値とグラフで提供。温度や湿度などの警報設定をした場合、警報設定から外れた場合にメールで通報。警報入力端子にハウスカオンキの警報などを接続した場合、警報発生時にメールで通報。

(2) 各種設置機器の制御

■ご利用できるアグリネット アドバンスWEB画面は、パソコン版の画面となります。

- ・圃場に設置した各種設置機器の制御に使用するセンサー情報と制御対象機器の運転情報を、定期的にクラウドで収集
- ・クラウド上にデータを集約することにより、遠隔からのハウス内の状態の確認が可能
- ・遠隔からWEB画面にて、ハウス内の各種設置機器の設定を変更することが可能
- ・各種設置機器からの異常を、警報の形でリアルタイムにメールで配信し、農作業の管理リスクを減らし、安定生産をサポート

2. 本サービス利用可能時間

24時間365日とする。ただし、利用規約等の条件に従った本サービスの中断、停止および廃止の場合ならびに当社が別途定める定期保守による本サービスの停止および中断の場合を除く。

3. 申込み者設備に関する仕様

申込み者は、クラウドサービスが提供する WEB 画面へのアクセスに対し、以下の仕様を満たす申込み者設備を所持するものとします。

(1) 動作環境

<パソコン>

- ・Web ブラウザ： Google Chrome 70 以降 ※最新版を推奨

(2) 電気通信回線

インターネット接続 10Mbps (※) 以上 (推奨)

※回線の速度により、画面のレスポンスに時間を要する可能性があります。

4. セキュリティ

当社は本サービス用設備等に関し、以下の措置を講じるものとします。

- (1) インターネットの接続環境にファイアウォールを設置
- (2) データセンターのセキュリティの確保

データセンターの設備セキュリティについては Amazon Web Service 他、利用事業者のセキュリティが適用されます。

<https://aws.amazon.com/jp/compliance/data-center/data-centers/>

5. データ管理

- ・収集したモニタリング、制御データ等について保持期限を5年とします。5年を経過したデータについては自動的に削除されます。
- ・データのバックアップについて、サービスの内容は以下のとおりとします。ただし申込み者個々の依頼によるデータ復旧は応じかねます。

- (1) バックアップのタイミング：1日1回（深夜）
- (2) データのバックアップ対象：ユーザ情報データ、圃場構成定義データ、ユーザ作成データ

6. サポートサービス

- ・本サービスに関する問合せは当社へ行うものとする。ただし当社は、問合せ内容が技術的な問題であつて、当社が契約者に直接回答することが困難である場合は、当該ソフトウェアを当社へ提供する第三者からの回答をおこなう場合があるものとする。
- ・前号に定める契約者からの問合せを当社が受け付ける時間帯は、当社営業日の9時から12時までおよび13時から17時までとする。
- ・当社は、契約者が定めた担当者からのみ電子メールで問合せを受けるものとする。

7. サービスレベル指標

カテゴリ	項目		内容・方針
可用性	サービス利用可能時間		24 時間 365 日（計画停止時間を除く）
	計画停止予定通知		原則、実施 1 営業日前までにお知らせで通知
	サービス稼働率		99%（計画停止時間を除く）
信頼性	障害通知プロセス		障害発生時には指定された緊急連絡先にメール又は、お知らせで連絡
	システム 監視	状態監視	システムの死活監視
		リソース監視	CPU 使用率、メモリ使用率、ディスク使用率
	バックアップ		システム領域・データ領域に対する 2 世代バックアップ
運用 保守性	ログ管理		アクセスログ/バックアップ取得結果ログを保存 問題発生時の必要に応じてログからの調査を行う
セキュリティ	セキュリティパッチ	適用方針	セキュリティパッチが提供された場合、緊急度等を鑑みて都度調整